

イブニング・ドレス（服飾）

著者	浅井 淑子
雑誌名	北海道女子短期大学研究紀要
巻	12
ページ	123-123
発行年	1979
URL	http://id.nii.ac.jp/1136/00001953/

作 品 発 表

イヴニング・ドレス (服飾) 浅 井 淑 子

水平な柄合を斜線の扱いとし、らせん状に繰り返すことによって、非対称的なつり合いを求めてみた作品である。

すなわち、ワンショルダーをポイントに、ベアトップのラインを斜めに扱い、これを基調にして、小さな花柄がえがくライン — 大きな花部分のライン — そして葉の部分、ヘムライン……と、各線を平行させて、施律感をそこなわぬようにまとめた。

素材は、葉（グリーンの濃淡）、花（ローズ・ピンク）のレースモチーフが、黒地にボーダープリントをえがくケミカルレースで、素材自体が及ぼす感じは地が黒だけに、大人っぽくも受取られるものだった。



しかし、退院後の一作目であるだけに、一層、若々しく、明朗な作品をつくりたいと思い、トップのオブリークカットに添って、プリントの一角であるローズのオーガンディでラッフルに扱い、ワンショルダーをラバリエールに高く結んでポイント付けた。後ろ身頃には、ワンショルダーからのパネルを扱って、変化のある着こなし法をねらいとした。

レースとオーガンディとの異素材の組み合わせは、ローズによるカラーハーモニーで統一の効果を計った。

もし、このモデル（パターン）を大人っぽく表現したいなら、プリントの一角であるグリーンをラッフルに用いてもよいし、あるいはディスコ調にまとめたいたなら、思い切ったアクセントカラーを用いてもよい訳である。

ワンパターンからの、いろいろな感情をもつ作品への展開をおもいながら、久し振りにつくる楽しさを味わった作品の一つである。

発 表 N D C 80年、春・夏モードショー

主要素材 ケミカルレース・オーガンディ